綠丘新聞

發行所 小樽商科大學 綠丘新聞編輯部
發行兼編輯人 岩田泰
印刷所 角田印刷所
印刷人 角田[illegible]

國警全學連を急襲

敬遠された本學

イールズ事件以來最近頓に尖鋭化の傾向にある全學連に對し先に文部省では國立大學々長と協議してその對策を決定又天野文部大臣は談話を發表して全學連の[illegible]禁止を聲明し、一方この文部省の態度に同調する學生間にも全學連の批判が起り、この動向が注目されていたが最近「軍事基地化の實體」のパンフレットその他反米ビラが同學連の手によつて各方面に配布されていることを探知した國警本部ではこれを命令第三一一號違反容疑として法務[illegible]最高檢の協力の下に全國に指令し十三日早朝を期し東大内全學連本部、早大、法政大など十數ヶ所、大阪では阪大、商大、市大および外語、京都では京大内同學會、立命館、府立醫大、福岡では九大學連事務局、九大新聞、仙台では同學連東北地方本部、宮城縣支部等々全國的に同學連支部關係團体を一せいに搜索、反米パンフレット、アジビラなどを押收、搜査を行つた。

道學連も

札幌市警中央署並に北署では中央の指示に基き十三日午前五時を期し署員約四十名を出動北大構内及び北大生十九名の自宅を搜査、全學連が配布したパンフレットなどを押收した。先づ北大構内では警官十數名が道學連書記局、北大社研、平和を守る會事務所を約三十分にわたり搜査、道學連書記局からは昨年全學連本部から出した指令、パンフレットなど約二百部を任意提出の形で押收、一方國警も學生十九名の私宅を一せいに搜査、問題の文書三部を押收した。[illegible]パンフレット所持者に對する處置その他については關係方面と協議の上行ふ模樣である。

又學藝大釧路分校、學藝大旭川分校、室蘭工大、函館の水產學部各自治會などに對し各所轄署で一せいに全[illegible]、問題のパンフレットを[illegible]路及帶廣の各校より只々一部押收した。

本學の場合

本學に於ては、當日早朝、數[illegible]當局及び市内新聞社よりの通[illegible]によつて事實を知つたが、學生部からは何らの搜査も行はれず、揭示等も全々なく、學生部でも小樽タイムス所報の如き（十四日付夕刊）各役[illegible]や學内をさがしビラ發見につとめた事は全くなく、十一日より夏期休暇に入り學生は殆ど歸省中で僅かな一日だつた。道内各大學中、本學のみ手は入れのなかつた理由について市警當局は、何ら指令がなかつたからで當警察署の責任ではないと語つた。

× × ×

全學連に闘爭を宣言

―道學連―

さきに全學連中央委員會の不信任を決議した道學連では十四日附大執行委員會を開いた結果「全學連中央委員會が何ら具体的方針をもたずに宣傳パンフレットを發行したため今回の事件が起つたことは、學生の日常の要求からかけ離れ學生および青年運動を分裂させるものであり、我々は全學連中央委員會に對し、斷乎闘爭することを宣言する」と云う聲明書を十五日發表した。

平和運動活潑化

若々なる委員選出

全學連常任臨時大會に出席するものと思はれる。

全國の動向をうかがいその平和運動への關心に刺戟され且學内での同問題への關心、昂進する現狀から「平和運動を」との動きとなり、先の學生大會で

一、學内に同運動を起す事

二、その主體となる組織「平和を守る會」を結成するとの決議を見た。そのメンバー作成に現在着々準備中で、[illegible]は豫期より遅れたが休暇あけの九月になつてから活潑に活[illegible]

自治委員會が推薦[illegible]めたその「平和を守る會」の委員選出の焦点は

（一）各文化部門のリーダーを通じて各部から求める、

（2）一般學生から希望をとるといふことである。

この「會」は人員の制限はなく左右兩論を含む有機的なものであり今後が關心される。

× × ×

學術會議開かる

日本學術會議第三部門地方會議並に經濟學會聯合會は七月一、二兩日中央より會員二名、本學より十名、北海道大學より三名、札幌短期大學、北海道短期大學各三名、道文科學研究所四名、道内經濟研究所學校關係四名、計凡そ三十名出席の下に本學に於いて開催された。

第一日は協議會の形で午前十時より開始され大野學長の挨拶についで、學士院會員、日本學術會議員、經濟大學々長高垣寅次郎氏より第三部門の現狀報告、更に日本學術會議員先一橋大學々長、上原專祿氏より日本經濟學連合會議の現狀報告の後質疑應答に入り、これを機會に各研究所の連絡組織を作る事に意見の一致を見、準備委員をあげ、具体案を練る事を定めた。午後二時すぎ會議を終え、[illegible]ゴム、北海製罐、ランチで港内見學を見學し、午後五時散會した。

續いて第二日は午後六時より市議會議事堂にて學生、一般人約六百名の聽衆を前にして「日本學術會議第三部會記念大講演會」を開催した。講演會は先づ大野學長の挨拶に續いて「[illegible]濟の相貌」と題して上原專祿氏、「日本經濟に於ける貿易の意義」と題して高垣寅次郎氏の講演があり、早川教授の「閉會の辭」に九時半盛會裡に終了した。

論說

開學一周年の反省

險惡な國際情勢のさなかに、本學はしずかな一週年を迎へたのであるが、時間の經過とともに、諸種の難問題がそれ／＼姿を明瞭に現してきたやうに思はれる。

將來に備へる意味において、こゝに一ケ年の反省を試みることは、無意味ではなかろう。

まづ、開學といふ明るいスタートは、『日本唯一の官立商科大學』といふ宣言から始められたのであるがこの誇らかな名乘りの現實的な意味は、日本でいちばん教授定員と豫算のすくない單科大學といふ、つまり官立單科大學のなかで最も小規模な大學といふ意味であつた。『生みの惱み』ではなく、『生れた惱み』のすべてが、こゝに胚胎してゐるのである。とにかく大學にならなければ、といふ先決問題解決のために、學長ならびに先輩諸先進市民が支持つた努力と援助の後にやつて來た諸種の問題が、即ち、本學の『生れた惱み』なのである。

しかし、これらの重要問題のうちには、『學制改革』といふやうな外部的な法制上の紐帶にのみ歸することのできない問題がある。

それは、第一に、開學の當初以來、未だに本學の進むべき道が明らかにされないことである。新制商科大學を目指してゐるのか、或は、新制大學としての商科大學たらしめんとしてゐるのか、大學の理念さへ不明としてゐるではないか！さらに、小樽高商時代のあのかゞやかしい學問の傳統は、今や、昨日のごとく捨て去られたのであるか？

近頃、傳統蔑視の風潮がさかんであるが、文化は一朝にして成らず、その爲に必要な諸種の構成要素としてレーゾン・デートルがそこに存在したのである。即ち、理論經濟學の優れた學風はこの北方の都たる學園より幾多の俊英を生み、小樽高商の學的存在を天下に誇示し得たのである。他方英文學ならびに商業英語の日本的權威を擁した學園は、小樽高商の英語として自他共にゆるす不動の地位を築きあげた。

しかるに、見よ、英語陣容の慘たる現狀は何事であるか！

われ／＼は、傳統のまゝに大學を許せよ、といふのではない。少くとも長い年月を要して創られた過去の功績の上に、更に充實した商科大學としての内容を築くことが本學の進むべき道ではないかと思ふのである。

この問題を一般的な視野において取りあげるならば新制大學または綜合大學と單科大學の長短得失を比較檢討し、加へて本學の特色を發揮する方針を確立することである。新制大學の現學は天下りかもしれないが、現學の操作範囲まで天下りではあるまい。遺憾ながらわれ／＼は、かゝる工夫の跡を見ない。展望單位のべらぼうに多いことだけが「よく學ぶ」道ではないだらう。

第二は、大學院設置の問題である。新制大學四ヶ年コースで專門學科の充實を期待することが不可能なことはいふまでもない。本學の研究所を擴充し、これを大學院設置の基礎たらしめることによつて始めて他の大學なみになるのであつて、然らずんばかつての北海道大學に比する小樽高商の地位に甘んじなければならない。二千五百萬圓の大學擴充資金募集の主要な目的は實にこゝに存するのであり、すでに「極東文庫」の寄贈を見たことは「鬼頭」「手塚」兩文庫の光彩に一段の輝きを加へ、學園の爲に慶賀すべきことである。

それにしても、本學の緊急を要する諸々の問題と貧困を極めた今日の實狀を思ふ時、われ／＼は、この重要な資金募集運動が餘りに緩慢ならざるやをおそれるのである。

第三は、われ／＼學生自身に關することであるが、イールズ事件に對して批評的態度を示した[illegible]が今日、平和問題に積極的な反省を試み始めたことは、注目すべき事件である。

戰爭がつねに利益本位的であるに反し、平和の問題はつねに高き理性に屬することによつて本質的に解明さるべきことはいふまでもない。故に、この問題が先づ知識人に背負はされなければならない。

第四は、全學協議會の發足である。これは、小さな出來事のやうでありながら、學園の學生々活に劃期的な質的變化を與へる貴重な契機となるべきものであり、學園もやうやく一つの魂と肉体を持つ氣配を示し始めた。自ら、獨自の立場においても、それがなされ始めたのである。

歷史學臨時講義開かる

前東京商大學長上原專祿教授は日本學術會議第三部會地方[illegible]授による歷史學講義は杉本榮一教授の近代經濟學講義と共に、全學擧げての期待の中に[illegible]昨年度は教授の御都合で[illegible]本年は[illegible]七月一日より開講された。久しく[illegible]學生の姿は本學に於ける何物かを暗示しつゝ全學生に多大の感銘を與えて終了した。

高垣氏講演

（講義中の上原教授）

學術會議の地方部會出席中の經濟大學々長高垣寅次郎氏七月三日「ケムブリッヂ學派に於ける貨幣論の特質」と題されて一二時限全學生に對して講義された。氏は本學とは從來から[illegible]擔當してゐる。又これは八月二十八日迄續けられ、その結果はレポートによつて決定される事になつてゐる。

ＹＭＣＡ・聖書研究會先輩に告ぐ

小樽商大ＹＭＣＡは昨年復活以來順調に發展して居ります。しかし今迄全國にある先輩各位には全く連絡の方法もなく、その活動にも色々支障を來して居たので先輩各位の名簿を作成し、事ある度に會の樣子を報告し又色々援助を賜りたいと存じます。御近況、氏名、住所、卒業年度、所屬教會等お知らせ頂ければ幸いです。又當時の會員の方の氏名、現住所なし、御一報下されば幸いです。小樽商大ＹＭＣＡ

學內短信

◆日本商業英語學會◆

七月十五日早大で開催される本學會に本學[illegible]教授が出席するな[illegible]同教授は日本學生會議の本學參加を外務、文部兩省に斡旋する筈。

◆國立大學協會創立總會◆

七月十三日、東大附屬圖書館で行はれる本總會のため學長が上京する。

◆文化講座開講◆

二十數年來行はれて來た本學夏期文化講座は本年も七月二十四日より約四十日間に亘り宮岡中學で開催される模樣である。

學外短信

◆開學式◆

札幌短期大學の開學式は七月九日十時より市民館で盛大に行はれた。

◆ＤＡＮＣＥ◆

關東學生舞踏競技會は六月九日品川パラマウントに於て開催された。戰績次の如し、種目はワルツとタンゴで順位は早大、中大、東大、文大、明大の順であつた。

◆ボイコット◆

津田塾大では再―イールズ氏が來學し講演にあたるときは、斷固實力をもつて拒否することに決議した模樣。

◆不法侵入◆

六・三スト決議のための京大經濟學部學生大會に私服の警官が潛入してゐるのを學生が發見、學生大會の自由を侵したとの理由で嚴重抗議を行つたが、現在の狀勢から今後の警察權力の大學侵入は注目されてゐる。

◆ＧＨＱ◆

九大では上空を飛ぶ飛行機の爆音が授業にさしつかへるためＧＨＱに請願書を出す事に決定した。

開學一周年を迎へて

學長と一問一答

休暇間近に迫つた七月七日（金曜日）編輯部記者は上京準備に忙殺されてゐる大野學長を學長室に訪れ、開學一週年を迎へ、學校問題、教授陣容補充計畫二十五年度研究計畫其の他の狀況及び現在問題となつてゐる二年制の問題等につき約一時間に亘り一問一答を行つた。

問　學長[illegible]の問題はどうなつてゐるか

答　簡單に定めるわけにはゆかないので、現在、委員會を作り充分に檢討し又他校のものも參照し更に教授會で決めたい。現在のところこの問題は委員會に一任の形だ。

問　天野文相の云ふ二年制大學の問題について本學はどうなるか

答　絕對大丈夫だとは思ふ[illegible]ぬ、躊躇なくその動向を見て行かなくてはならぬ。

問　現在の教授陣容では新制大學としては、あまりにかたよりすぎてゐるが將來もつと、科學全般に亘る教授陣を作る必要がないか

答　日本的世界的學者としての將來性のある人物を教授として本學に揃へる事は現在の私の最も大きい望みである。

私個人としては、學校にある限り、理論的な基礎的なものをしつかり身につけておく事が必要で、實社會に出てからはやれない學問をすべきだと云ひたい。

問　寮の問題、厚生施設はまだ／＼改善すべきだと思ふがどうか

答　本年度から學生の厚生費は相當多額になる事である。出來るだけ力を盡したいと思つてゐる。

問　最近の學生は、實用的な面ばかり追ひ、理論的學問的な方面をかへりみない樣な傾向にあるがどう思ふか

答　これは學生諸君の側で反省すべき問題である。

問　研究調査會による研究資金は集つてゐるか

答　前期の新聞にもあつた如く拓銀よりの百萬圓を始め着々と目標額に向つて進んでゐる。北海道内より少くとも五〇〇万圓は集めたいと思つてゐる。今の所學生諸君に手傳つてもらふ事は考へてゐない。

嫌われた行商

アルバイト登錄その後

登錄人員は現在一八六名、アルバイト不振の折から漸く半數が職を得た程度で殘り半數は登錄はしたけれど……といつた狀況である。現在從事しているのは公務所の（市内商業調査）約七十名で稅務署の廻し者かと疑われ調査に應ぜぬ業者をさとしたり、すかしたり適當な[illegible]の證明書を提示し果は法令の引用等とかでおどしたりして〇〇〇圓ではね？とこぼしている。他に行商（石鹸、殺虫劑、文房具等）の申込があるが、さつぱり振わぬらしい。新厚生會では夏休みを控え市内の商行、官廳會社その他、又自治委員會の協力を得て積極的に運動を始めている。

修學旅行具体案

―夢はるか―

今[illegible]の修學旅行は十月十二日より向ふ二週間と決定した。旅程は左の通り十月十二日小樽發陸路―日本海（北日本汽船）新潟陸路―京都二泊―大阪一泊―奈良一泊―名古屋―東京三泊―十月二十四日東京にて解散。申込人員は七十二名である。

中高校教官認定講習始まる

道教育委員會主催による中高校教官認定講習は七月一日より約二百名が參加して行はれてゐるが、これは中學校教官には英語、數學、社會、國語科、高校教官には英語、商業科に應じて大學卒業の資格をあたへるもので、科目は教育心理、教育統計、教育原理、經濟學原論、國文學等で、本學各教授が[illegible]

文部省より研究費

昭和二十五年度科學研究費交付金本學關係の受領者が決定、左の通り發表された。

一、日本英學史に於ける北海道地位の研究　二万圓　商大教授　玉井武

一、中小企業の經營的研究　二万圓　商大教授　岡本理一

一、窯業國定工場經營の[illegible]に關する研究　二万圓　商大教授　川原[illegible]

一、會計學に於ける基本概念　二万五千圓　商大教授　木村重義

映研、蘭島で海濱スチール展を開催

本學映畫研究部は七月二十二日より八月十五日まで小樽市内各映畫館の後援を得て蘭島海水浴場で海濱スチール展を開催、映畫に關して[illegible]を行ふ豫定である。

野球部全國大會へ

第二回全國新制大學野球選手權大會北海道地區豫選は去る十二、三の兩日北大に於いて行はれたが本學野球部は春期に北大を破つて春季對北大定期戰の雪辱をなし昨年に續いて再優勝を飾つた。尚本野球部は二十九日から四日間橫濱ゲーリッグ球場で行われる全國大會に出場、全國九地區代表と覇を爭うことになつた。

ゝ第一回戰（十二日）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
北大	0	0	0	2	0	1	0	2	0	5
商大	0	0	5	0	0	0	0	1	A	6

バッテリー（北）栢木―安杉　（商）平瀬―中西

ゝ準決勝（十四日）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
札短大	0	0	0	8	0	0	0	1	0	9
商大	0	1	0	1	2	5	5	4	A	18

バッテリー（札）金沙、中居―久保　（商）平瀬―中西

決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
商大	4	4	0	3	0	1	0	0	1	13
帶畜大	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4

バッテリー（商）平瀬―中西

伊藤整氏翻譯書發禁

本學大正十三年卒業の伊藤整氏は本學の生んだ文藝の異色的存在として文壇に活躍して來たが氏が最近翻譯した世界の名作Ｄ・Ｈ・ロレンスの「チャタレイ夫人の戀人」を[illegible]した處これが刑法第一七五條「猥褻文書頒布罪」に該當するものとして最高檢察廳により[illegible]ぜられ[illegible]八日[illegible]された氏は之を表現道徳への批判の[illegible]と主張反駁してゐる。

× ×

アメリカ便り

マ先生との會見記

貿易振興の爲に、優先外貨に依る海外渡航制度が出來て、私が米國市場視察を許可されて、羽田飛行場を出發したのは、昨年十二月九日であつた。同日ハワイのホノルルに入港以來、サンフランシスコ、ジカゴ、ニウヨーク、ワシントン、ニウオルリアンス、ロスアンゼルスそして又ホノルルと約四ケ月の慌しい視察旅行であつた。私には初めての米國旅行であり、見聞するもの全て新しいものや事柄ばかりであつたけれど、サンフランシスコ上陸の第一歩、マツキンノン先生に、御面會出來てその上、種々と御歡待して頂いたことは私の旅行を通じて最も嬉しい、しかも最も印象深いことであつた。

私が學校を卒業して以來十年近く御目にかゝる機會が無かつた先生は、當時小樽で教鞭を取つて居られた時と少しも變りはなかつた。少しお年を召されたこと、少し痩せられた樣に思はれたけれど、大變元氣で居られた。現在加洲大學で日本語を教へて居られる先生は、[illegible]種々お話し下さつて思はぬ間に半日を先生のお宅で過したけれども、本當に嬉しい樂しいことであつた。

先生は先ず私に教へて下さつたことに、日本にも米國にも、良いこと、惡いこともある[illegible]

[illegible]玩具の古品屋であつた。先生はこの樣な品物を使つて生活して居る人も多いことを見過してはいけないと言はれた。私は又日本では廢品でこそあれ、古品としては商品價値が無い什器や玩具迄も古品として價値がある……それ[illegible]

[illegible]日本の良いことも米國に[illegible]

[illegible]夕には神と自分と同じ心で過させて戴いて有難いとの感謝の爲に、兩手を合[illegible]

[illegible]

この日本を知り、日本を愛して居られる先生が、戰時中は心なき官憲の爲に、種々苦心されて、深くお愛しになつた奥樣と死別され、やがて[illegible]と死別された由にて、先生[illegible]

先生の御住所は左記の通りです

Prof. D H. Mckinnon,
2008 Woolsey St.
Berkeley, California.
U.S.A.

和久井功しるす
（昭一六年本校卒業
東京・増田屋商店勤務）

商大對北大定期戰

◇野球◇

第一回トップ打者大澤の當りは痛烈右中間を抜き三塁打となると思われたが野手の好返球により三塁前落死し好機を逸す。第二回四番より六番まで二四球一失策により無死滿塁とせめたてたが後續三者凡退し又もや好機を逸す。その後立直つた北大栢木投手におさえられチャンスをつかみ得ずシャットアウトを喫す。一方北大は投手平瀬の不調に乘じ一回に三四球二安打により三点を奪ひその後着々得点をかさねて一方的試合となつた。商大の敗因は試合前に於ける選手の故障、それによる精神的打撃もあつたがそれにもまして投手平瀬の不調と打撃の貧困は覆ふべくもなかつた。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
北大	2	0	4	1	0	3	1	0	A	12
商大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇軟式テニス◇

午前十時より市營コートに於て行はれ、本學よりは○松田、宮崎◎小林、木村○國口、松井○高野、須藤◎佐藤、一三名が出場した。先づ◎小林組が、最初にポイントを擧げ氣勢をあげたが續く三組は次々たふれ最後の松川組が北大の四チームをなで切りして五對三で、壓勝した。尚續いて行はれた兩大學チーム個人戰では、松川、宮崎組が優勝した。

團体戰　商大5―北大3

個人戰　松川、宮崎組（商大）

◇ラグビー◇

午後一時十分より花園グランドに於いて開始、奮戰すれど出場選手の過半數が新人で試合の不慣れが大きく原因して敗る。

	計	前半	後半
北大	30	18	12
商大	3	0	3

三年 小野FW 持山FW 小杉FW 小島FW 竹田FW [illegible]TB [illegible]TB [illegible]TB [illegible]FU [illegible]FU

二年 登山 赤 [illegible] 一年 佐[illegible]

◇卓球◇

卓球は樺陽校で午後一時より行はれ四對三で惜敗した。

北大4―3商大

八幡2―1木間

跡野0―0種田

（大森・永田）3―0（白井・安田）

山地0―2神谷

（梅谷・南雲）0―2（神谷・木間）

[illegible]3―0安田

永田2―0白井

◇ボート◇

七月二日小樽港内北防波堤に於て第二回對北大戰を行い三艇身半の大差をもつて快勝した。

一着　商大　二分五一秒

二着　北大　三分〇五秒

◇籠球◇

前半二分[illegible]より中央よりスタートを切つたがその後北大は着實にゴールをきめ、リードをうばつて、四ゴールリードの中に前半終了。商大ウォームアップ不足か實力を發揮することが出來ずその上安將選手なき爲や、疲勞がみ、後半始め北大の巧な選手交替に[illegible]されてマーク不徹底の爲ノートマークで續けて三ゴール許して大差をつけられたのが敗因となり苦戰を續ける。商大、中尾組織シュートで挽回をねらうもうまらず相手方のチャンスを作つて了ふ結局後半始めの大差がそのまゝ最後まで挽回することが出來ないまゝ試合を終了した。

	計	前半	後半
北大	45	18	27
商大	26	10	16

商大

		得点	反則
F	安彦	2	2
	小杉	12	0
C	豐北	2	0
G	長尾	4	4
	西宮	6	1
	小笠	0	0
	計	26	7

北大　[illegible]　計 得点 45 反則 3

◇ヨット◇

實業團對學生レースを兼ねた對北大戰は去る六月十八日行われたが練習量に於て劣しく[illegible]

◇排球◇

[illegible]二回戰（以貝、菅田）[illegible]北大（一四）にも拘らず北大組を見事火格ずしめ、巧みなタクティック[illegible]で悠々二位を獲得、第三回戰は[illegible]（梅瀬、熊谷）スタート悪く結局三對二と苦戰の末敗れた。

[illegible]のつてゐる本學チームは强豪北大を二十一對十四で破つたが[illegible]

焦点

全學連は全國の大學を彼らのダンス・ホールにした。[illegible]がけて踊つた。そしてついに舞踏場の外にはみ出してしまつた。

大學の進歩的教授も、共產黨本部さへも、そのステップの速さに調子が合はず、とり殘されてしまつた。

新聞の社說や座談會は、例のごとく、學生も惡いが、事こゝに至らしめた學校側にも責任がある、などと、兩者をたしなめてゐる。

何のことはない。社會の指導者をもつて任ずる大學全体が社會から子供扱ひにされてゐるやうな格好である。

文藝復興以來、數百年間、大學の中世的權威は失墜したが、近代科學の學理研究としての大學の權威が確立してから、やがて一世紀にもなる。

河合教授を始め所謂リベラリスト教授が追放された當時の大學も、今日の大學ほど世間から子供扱ひにはされなかつた。當時の大學には、[illegible]の意識とともに、これを[illegible]ける學問研究の旺盛な氣風がみなぎり溢れてゐた。ソクラテスやマルクスも入り亂れて闘つてゐた。

それにしても、何といふ大學の凋落ぶりだらう。そして、この大學の中から、やがて、戰爭も平和のためにはやむを得ない、などといふ法學者や經濟學者が現れて、戰爭理論をふりかざす時が來るのかと思ふと、ぞつとする。

永世中立論は既に過去で、中立を願ふ國民は共產主義者と同類だ、と總理大臣までがおつしやる。自由主義は共產主義の温床だ、とサーベルがものを言つたのは、つひ、この間のことである。忘れてたまるかい、と言ひたくもなる。

硬庭コート完成について

[illegible]盛夏の候となりました。先輩各位には益々御健勝の事お慶び申上げます。扨一昨年來懸案の硬式庭球コートも先輩各位の絶大なる御支援に依つて、今春修理完成し[illegible]御期待に背かざる樣最善を盡して居ります[illegible]取紛れて、[illegible]ませんので、甚だ失禮と存じますが紙上をかりて右御報告申し上げ、衷心より感謝の意を表すると共に今後共一層の御鞭撻と御援助を賜ります樣御願ひ致します。

硬式庭球部

登別えお出の節は
ＱＱＱ
サンキュウ商店

パイロット萬年筆
新学期！
金光堂時計店

パイロットインキ
色調鮮麗！
日本東京特許……の指定品
金光堂時計店

事務所移轉開設御案內
東京都中央區京橋三丁目十一番地
橋本ビル（日活本社隣）
坂東會計事務所
計理士 稅務代理士 坂東虎市
大正10卒
電話京橋 七五四一番 六八八五番

冷い生ビール
冷耀勇躍
德な酒ゴードー
安心の出來る店
小樽 ゴードーの直營
小樽ギンザ街

全學連より歸りて

中央に於ける學生平和運動の再考

自治委員長　加藤誠司

五月十九日より二十六日までの八日間在京し我々三名は、それが皮相的なものであれ現象的なものに觸れただけのものであれ實感として中央の平和運動を味はつた。日東大では五月十九日から五月祭の最中、その中で二十日から全學連大會のための準備を兼ね二十日社會事業專門學校での大會第一日目に出席翌二十一日早大での各種別協議會、二十二日二十三日家政女學院での大會第三、四日目に出席二十四日更に東大早大の各自治會を訪問、以上の豫定を終へたわけである。各學園に於ける平和運動の主體は各自治會であり、各平和を守る會等であつた。これらが各學園の諸部門文化諸團體各機關等の活動と密接に連繋し、運動をより擴大しつゝあつた。中央の學生の平和運動を單に平面的な觀方だけに止めるならば、地方の各學園に於けるそれとは大差がなからうけれども、中央のそれは具體的に一步前進していたし前進することを余儀なくされた度合を強めて來てゐる。その[illegible]

の主體は學生によつて形造られ、その主體が常に全學生と[illegible]を把握ぜんとしつゝ遊[illegible]もの、改革が行はれ多くの[illegible]。中央の客觀情勢に對[illegible]は、單に絶對的な段[illegible]み止まることを許さず[illegible]に於ける運動としての形[illegible]に出來上り、愈々その[illegible]強めて來てゐる。

說く指摘し戰爭不可避の立場を明らかにするために、擴大された强力な運動によつて、多くの現象を作り出すことゝなつたといふことであつた。そのため大會に於ても、運動目標の方法論的課題が戰中二日討論の中心であつたと考へられる。即ち中央の學生の平和運動は既に明瞭に運動それ自體[illegible]ふ主體性も又換言以上に明確である。又學友會諸部門との協力、各研究會自體の積極的研究、經濟の各研究會な活動との提携もその一に數へられる。全學連武井執行委員長の提案にはそれが運動への展開して行くには種々の困難に直面して居り、且つ全體を把握[illegible]の點については、種々の問題[illegible]「運動の結果としての現額は、それが市民を正當にアッピールし、それへ市民を獲得に[illegible]實に率下せしめるであらう」（提案趣旨）等が掲げられるけれども、中央の學生の平和運動は、總じて學生をして運動それ自體の檢討の點に立たしめているといふことを大きく評價せねばならぬと考へられる。

動への檢討もその經緯の段階にあるものと考へられる。そして運動の主體の根底にあるいふ所謂「凡ての場合」の受當性が明確に規定されていると考へられる。中央の情勢が學生に論度にアッピールしている事は余りにも明らかであるが、學生自體の、その情勢を實踐に取上げ運動を展開して行くといふことである。即ち運動その結果は戰爭誘發の原因を[illegible]

我々の學園を省みる時、現情勢に對する分析、中央のそれとの比較上の實感の斷をより適確に行ふと同時に我々のセンスとインテリゲンチァの凡てを以て現情勢に批判を、我々のメスを揮ひ、決して安價な反省しなければならないエゴイズムに陷らずこと[illegible]學園の實質的なアカデミー[illegible]明らかに指摘し、告白しなければならない。我々の自治委員自體、一方的な[illegible]

ないことは、我々委員自體、明らかに指摘し、告白しなければならない。

以上二つよりいえる事は、學生の本分としての學問的立場と、自分の社會人或ひは日本人として人間としての自覺を持つた學生の中から生れて[illegible]來ねばならない[illegible]くるのが本當ではないかといふことである。（七・六）

（經專三年）

中國學生運動を思ひ乍ら……

瀧村修藏

「わが民族の青年が日々習つて後の人々に示すべき事は自覺者の中國の不死をあれこれと言ひたてる事ではなくて青春中國を力強く育くんでいく事である。わが民族が今後よく世界に起ちよりうるかどうかは、余命幾許もない白髮中國の問題ではなく、青春中國への轉生、復活にある」

この言葉は中國學生運動の緒を飾り、然も何ものにも指導されぬ自然發生的な五四運動—一九一九年五月四日パリー平和會議に於ける中國外交失敗の報をきつかけに反帝國主義（殊も直接的にはドイツ支配）反封建主義の運動は燎原の火の如く、學生のみにとどまらず中國民衆の怒りとして全國に蔓延して行つたのである—に始まる諸運動の尖端に起ち上つた學生達が彼らの內部から支へてゐるものゝ象徵である。

僕は「學生は中國の良心であり、青年は中國の國魂である。」と云はれる所以もこんなところから讀めたい。五卅運動（一九二五）、一二・九運動（一九三五）、又「一致對外」の旗のもとに於ける抗日運動、戰後の內戰反對、愛國助學の運動など（加論三十年間繼續的に運動が行はれてゐたのであり、その中から拾ひあげてゐるにすぎない）に作ふ青年學生の心の中に燃えるは、救國救民といふ兩これらは全て內憂外患の急迫に功利的純情熱意より出ずるものであつた。先々の運動の具體的內容に就いてはスペースの關係上後の機會に讓りたい。それはさておき中國學生は「國破家亡」の窓國のうちに悩み呻吟したりする事もあつたが「國家興亡、匹夫有責」「讀書勿忘救國」の格言を胸に修めつゝ、國家の獨立、[illegible]軍閥及び封建勢力絕滅への道を歩み續けて來たのである。

扨て、一般に、政治的學生運動は許容さるべきものなのだろうか、僕はこの許として中國の自由主義者、林語堂の言葉を引用したい。彼はいふ「學生運動は平和な時代にはアブノーマルなものであるにも拘らず國難時代には全くノーマルなものとなる。自由な新聞があり又議會があるかどうか[illegible]」

この言葉は中國學生運動の[illegible]時學生運動は起るのであり、現代の中國社會は實にこの危機の連續そのものであつたから、そこで、自由的近代國家樹立を志向する中國民衆の一翼として學生運動の大きな發展[illegible]いてゐるのである。

ところで彼らはスムースにその目標に對し進み得えたのであらうか。これについては[illegible]がよく示めしてくれるだらう。彼は中國が民族の侵攻に面つてゐる事を[illegible]學生がそれに果敢に抵抗[illegible]安心させない。もし當局者[illegible]は未來安心して讀書すべきである[illegible]反省自責して一点の良心を殺した……これは一事件の齎なのだ。」

然しそれにも拘はらず、彼らは決して屈したのではなかつたのである。而して彼らの運動に於ける價値すべき彼らの不屈性耐久性の理由は、誠なる彼らの民族意識に求めらるべき[illegible]帝國主義に屈しない氣魄が振り、又自國の自由主義確立の[illegible]

國內的に官僚大地主など封建制の改變に努力しえたのである。

かくて自覺せる青春中國を全體の願望の表示者として、僕は中國學生の雲を掴みうるのである。

その故にこそ彼らの運動の數個を摘みたかつたのであるが、「學生の運動」としての平和運動といふ意味で、參考的に中國學生運動を眺め、單に方法として彼らの運動から教訓を得ることにしてみたい。

與へられた題は『平和運動』について』だつたが、僕は「一」は承認されても、その結果どの樣に動くかといふ事については疑問である。即ち彼自身を失つてしまふ可能性があるのではないか。彼自身屋上（?）も自己の主體性をいつの間にか[illegible]

否定する事が出來るであらう。即ち①前述の如く中國民衆の事とは別に次の點だけはつきりした僕の結論はつけ加へておきたい。②一つの[illegible]として[illegible]要素され、この讀み方が又學生の本來の在り方のオーソドックスな道ではないだらうか。

(1)學生には學生の本分がなければならない、然し學生は一般大衆の一口として同時に社會の民族の一員である。若し前者のみならば學生は自ら社會と民族から切り離してゐる事になろう。

(2)學校當局、教授、學生と同調して[illegible]これに障礙して、個々の主體性といふものが失はれるのではなからうか。

學生は[illegible]一般大衆に訴へ、大衆に結びついて[illegible]

(3)主體性が十分確立されぬうちに客觀的な情勢に眼を奪はれ、而して一つの現實の壁にぶつかり、その不合理性を見て、是正の一道といふものに政治運動に入る動機になる。

(4)[illegible]なる専門的知識をもち實に研究に於ける學習に影響を及ぼさない限り社會の活動に從事する」（要約、『四九、三、五中部全國學生代表者大會』）

僕は中國の學生に政治性が十分でなく[illegible]

僕はあまりにも行動的な中國學生の在り方にあたつて來た。僕はあまりにも行動的な中國學生の[illegible]

ふ事である。只單に眞理探求と稱して（然も大學はその實物束）したものゝ偏見の對象の理由を者に隠れて、誤い自己批評もせずに）一切から隔離せんとする努力が如何に空しい事か。その對象が可能なる證明を僕は過去の僞證の發現にこの例を見る。

この解決に迫られながらも、僕自身の人としての描きの大なるものと小なるものとの矛盾はそれを認識せしめるのである。

現象は總々にして誤解を招く。一つの現象は幾多の誤解を招くものである。しかし是等が進んでその現象の主体に對する偏見と形成されてゆく時その各々は往々に[illegible]

かくして偏見の對象に縛束してしまう。その對象が自分をも含めて疑問に相當する事はないのであらうか。

は、いえ、かゝる傾向的な「羅」の「喪失」は、經濟の心の屈服心中國の豊かなる結實を危惧せしめる。

こゝに至つて僕は再び中國の學生に眼をむけざるを得ない。それは現在では、即ち五四以前の學生に讀みつゞけて、そして中國の人間關係、即ち[illegible]新しい人間關係を考へる彼らが如何に[illegible]自分のものにしたかを知りたいのである。それこそ彼らの隠れたる場所であり、彼ら自身の改革と、といふのは僕は彼らの隠れたる場所こそ先ず家庭であり、それはどこよりも先ず家庭であ[illegible]

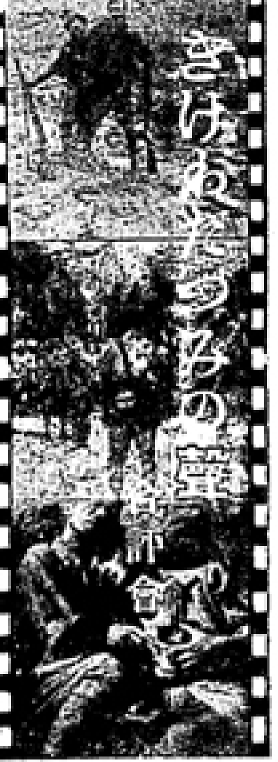
る國際關係の確立との、從つて中國の近代化への步みの中に占める中國學生運動が大なりと信ずるから[illegible]である。

だがこの樣な觀方は偏向的かもしれない。即ち「別た觀方から」と、一轉して別の準備—即ち觀方からは、矛盾を中より彼らに少しの計さも許さなかつたのかもしれないのだ。

それはともあれ彼への憧憬は己への出發をもたらすそしてこの出發すら隨性となると論念と化するのであらうか。

（五〇、七、四）

（經專三年）



H＝敗戰の悲惨さは當かれてゐるが戰爭そのものに對する否定が弱いと云ふより現れてゐないのではないか。

A＝でもこの作品は現在の段階ではその積極的意義は認めねばならぬと思ふ。一般大衆に戰爭は嫌だと云ふ事を敎へてゐるからね。

O＝生き殘つた人々の哀しみもさる事乍ら死んで行つた人々の苦しみがいか程であつたか。戰爭への限りない憎惡を抱き乍ら死んだ人々の叫びはあの映畫で再生されて吾々の魂をゆすぶる。

E＝厭戰映畫としては成功してゐるが戰爭が起らんとする時何をなすべきかを教へてない。具体的な行動を敎へる點で欠けてゐると思ふ。

K＝反戰への持つて行き方が

[illegible]されていつた吾々の先輩の叫びを聞き見た學生達は何を感じ何を知つたか。七月一日經濟研究部・自治會その他一般學生の參加を得て映畫「きけわだつみの聲」の合評會を行つた。

司會者　本日は忙しい處を集つて頂き有難う御座居ます。今晩は敗戰學生の手記「きけわだつみの聲」の映畫化が爲された事はそれ自体大いなる意義があり誰しも思ひます。それでは先づこの映畫にどの程度の反戰思想が現れてゐたか忌憚なくお願ひします。

S＝悲惨な戰爭の犠牲の群が訴へる處のものを僕ははつきりと感じた。

充分でない。反戰や平和意識に對する愉惡だけだ。戰爭そのものに對する憎しみがすりかへられてゐる。尤も軍隊と云ふ戰爭が示す一番現象的な面のみを捉へて來て示す事が一番効果的に訴へる事になるのだらうか。

F＝確にそういう事は云へるね。だが今迄の映畫と異る大きなものを持つてゐたのではないか。

H＝若し日本が敗けなかつたら此の樣な映畫が川來ただらうか。“戰火の彼方”や“平和に生きる”に流れてゐるヒューマニズムの欠除と云ふ事は云へる。

叫びである證には弱い感じだが。然しこの種の映畫は全映畫界が結集して國家的意識のあるものを作るべき

だと思ふ。

K＝でも一つの社會思潮を示す樣な啓蒙が珍らしい日本映畫界としては意義ある作品ではないか。然も興業的に大衆向きの映畫しか作られぬ現狀を見る時過去の習慣として、軍國が取えてゐるる映畫を製作した事は映畫人の良心を示すものと思ふ。日本人にそれから歩いとする、畫面としてはその樣な狀態[illegible]

して賞讃に値する。苦しい政治の中で作り上げた人達の情熱と意思に頭が下げる。

司會者＝では次に技術面について如何ですか。

T＝僕は先にシナリオを讀んでいつたから判つたが、キイ、ポイントが完分描き現

れぬ人が居たのではないか。

O＝あの管樂効果は一考を要するね。“モンテーニュの言”などはあの作曲で“メチャ〳〵”だ。

A＝ロケには相當苦勞してる樣だ。

T＝聞かす方にもつとタイトを置くべきだつたね。この点があの映畫では不調だつた然も證據はれたものも完分表現されてゐない。非常に物足りなかつた。

E＝あれは學徒兵にウエイトを置いてゐるのだから、ウエイトを重く取つて頂くとだんだんと、時代の平和な思ひ出がふんと上つたのだが。“あの幼少時代の思ひ出は蛇足だ。”

T＝レナリオには背地の學生時代の思ひ出があるんです。よ。何故入れなかつたのでてすかね。

司會者＝では最も感銘深かつた箇所を……

K＝個性のない軍隊の中に於いてあの樣な愚かな事が行はれてゐた事ですね。火の前進をさせられる處等。

O＝惡肉の作で銃殺を受ける時兵達が集まつて來るね。一喝されて歌つて行きますね。

F＝一學徒兵が重病で寢される時戰陣訓を唱える場面あれは余りにも痛ましすぎる。僕は正視するに堪へなかつた。あそこで學徒兵がもつていた軍隊に限りない憤りを感じた。それから南へ日に後留兵が次々と自殺して行く處。“母の居る日本へ平和な日本が唯一つの思ひ

川に死ぬ國際感覺が迫られた殿方の兵士が居た事か。

E＝殺した兵士の上に母から學の手紙を取つて投げてやる。

A＝あのシーンは印象的でしたね。一般大衆に厭戰思想を訴へるシーンが最高の効果ある處だらう。

E＝僕も、あの映畫をみてつくづく我々は現在何かしなければならないのだといふ決意を強いられたのだが。しかしあの中で獄中の友と學生にお母さんが合ひに來る場面があるだらうあの時のお母さんの表情をみたら何とも言へなかつた。

B＝僕はあの映畫をみてね一つ大きな矛盾だと思ふ事はあの映畫に出てくる火藥の人は死を覚悟して歌ふ或は恐れるといつては罪惡があるかもし

れないがそんなに示されたら次の場面ではいえと死んで行くところに行くと母さんがこの戰場へ引張られて行つて……

司會者＝最後にこの映畫から考へさせる事をどうぞ。

C＝僕はこの映畫に大衆動員と學生がさう集まる所で收録してゐることを示す事ができてその自由と平和を守る中心が示されてゐると思ふんだ。

A＝僕は兎にかく戰爭は嫌だといふ感を深くして來た。

F＝しかしその爲にも只厭戰だけではだめだと思ふ。これからの映畫には人生や改革を伴つてゐる事をよく示さなければならないといふ事を……

× × ×

上原專祿教授

◇平和を語る◇

去る七月八日歷史學研究會主催にて上原教授を圍む學生と人間のある座談會が催され、これは平和を語る座談會に於けるものゝ一部の抜萃である。

平和問題に就ては以前から漠然と私が常に今年の人類の平和問題と云ふものはずつと以前から關心をもつてゐましたが、最近特に平和に就てはどう云ふ方向へ進むかの、新しく考へねばならない段階になつてきた。

「もう新聞にも雜誌にも書かれて居るかも知れないが、平和問題に就いては、どうも平和と云ふ事が、私達が戰爭と云ふ觀念は何であるかと云ふ事を考へて行かなければならないと思ふ。ふが、現在日本で平和問題を取上げてゐる實情を見ると、それは現代と云ふ觀念と歷史的な觀念がかゝつてゐるのではないかと思ふ。一般世界的に見ると、戰爭も平和もある時代には當然のことであつた。」

つまり戰爭と云ふものは今迄以上の時代から見ると當然の事であるが、人間の歷史的な進步によつて戰爭の行はれることは當然でもない。結局現代に於ては戰爭と云ふものは人間性と云ふものの中に内在してゐるのではないかと考へられる。戰爭と云ふもの、人類の理念としての平和と云ふものとの間に、一つの矛盾が存在するのではないか[illegible]

以上の如く常識論として考へられてゐることは、私には分らない。それは本來主義と云ふものは、私自身の立場から平和と云ふもの、一種のセンチメンタリズム又人間同志が争ふ事は人間性に反すると云ふヒューマニズムとは違ふ。

私自身の場合平和と云ふものは結局階級斗爭的な立場から資本主義的帝國主義の行動から見て戰爭が出來るかどうか何とも云へぬが、しかし現實がさう云ふものではないか。例へば中世に於ては封建諸侯の間の戰爭はあつたが、それは時代に從つて發展して來てゐる。建設の經濟と政治的な勢力の別に團結と競爭とは考へられない。

近世になるとスペイン、オランダ、フランス、イギリス等が各々ナショナルステイトを作つてゐる。即ち內側では資本主義的な政策をとる外側では植民地の爭奪戰をするといふことが行はれてゐる。アイルランドの場合にこの國内的經濟政策外側ではその國によつて直接利益を得る者は商工業者であり、その下に資本主義の發展に伴ひその手段として戰爭は避けられない

非常に大事な歩みである。原子爆彈が出來る迄の間には、武器と云ふものが存在した。之は第二次戰爭の國際的政治力の問題である。第三次世界戰爭は何としても避けたいと思ふ。

この時代にはナショナリズムの如く色々の種類の國が行つた國際的な戰爭が研究されたりしたが、世界は何とかして何か合理的に解決しなければならないといふ概念がある。そこでアメリカの資本主義とソ聯の共產主義の二つの陣營の對立が今日の問題である。日本はどちらの立場をとるかと云ふことが問題である。

[illegible]

資本主義の段階として戰爭は避けられないといふ考へ方があるが、日本人が色々の方面で平和を要求しても、その間の矛盾をどう解決するかといふことが問題である。それは實際的な意味で平和と云ふ事が大體そんな風に、私には疑問である。

露語專任教授を招け

我々は何故學長が露語の專任教授を置かぬか理解に苦しむ。露語課は自然消滅の運命にある。北海道經專四年の露語を學べる者の卒業せし後、露語課は自然消滅の運命にある。

若し、この問題に思想やイデオロギーがからまつてゐるとせば許し難い。露語アロルギーと思想問題とは全く區別すべきものであり思想問題を理由として小樽經專や小樽商大から露語を奪ひとるとはれこそ我々の學問の自由を侵すことである。

語學は本來思想とは何の關係もないものである。「世界平和の鍵は日米の安全」の立場から一方に於て米語を通じて米國を知り、他方に於て露語を通じてロシャを知らねば、ならぬ。若し我々がどちらかの一方を捨てることがあれば日本の安全はおびやかされ、世界平和の實現も危ぶまれる。

露語の重要性は今日に始まる事ではない。我々は未來を理解し二つの世界のもう一方ロシャを理解し、彼等と手をつないで進むためには絶對に露語は必要である。

でなくてなんであらう。時代より英語を學んで來た。世界平和が[illegible]學長に望みあるならば、すべからく露語專任教授を招け。それは我々の叫びである。

（經專三年一平和出品者）

全學連參加の可否

過日行はれた全學連第四回の大會は、以來本校自治委員會の活動及び學生の動きに大きな影響を及ぼすであらう。この點で全學連と學生運動に對する指導とも言へば全學連の性格である。その的立場より見る時我々は何らかの疑念を持たざるを得ないイールズ聲明の殿堂を[illegible]

前述の理由でストライキ指令等は否くそこに本校自治委員會は全學連參加の可否の討論の上全學生投票を行ふべきであるが、[illegible]無記名投票で行つてはどうであらうか。我々はこの際全學連を批判的にみるべきではあるまいか、公正なる立場に立つて全學連の正しき批判を加へるべきではなからうか。

學內自治活動はすべて如何なる場合にも認められてゐるのであり本校自治委員會と全學連との關係は問題外である。こう對立しての批判は學生運動を檢討する上で當然考へるべきである。そして[illegible]

無記名でなくそれはその後の事である。

（商大二年ひ生）

綠丘會小樽支部

月例集會に就いて

久しく中絕していた綠丘會小樽支部月例集會を今般復活し毎月第二火曜日午後五時より大國屋食堂で開くことゝなつたので誘合せの上多數御出席を願ひ度く案內します。

尚第一回は次記により行ふ。

日時　七月十一日（火）

場所　大國屋食堂（四階）

會費　百圓也（當日持參）

綠丘會小樽支部

通常總會報告

昭和二十五年度通常總會が開かれた。昭和二十五年六月十九日月午後三時より小樽市色內町北海道貿易會館に於て本年度通常總會が開かれ、賀川理事長を始めとして小樽在住同窓の出席を得、大野學長、本會教授及び薬田事務局長、山村庶務課長が出席された。

賀川理事長の開會挨拶に始まり、次で、木村常務理事より本會の報告、議事につき詳細な説明を行ひ協議に移る。總會は之を意見の交換があり、終つて大野學長より小樽商科大學研究助成會の設立及び綠丘會の經過及び書籍等の現況につき報告せられ懇談會に入り、午後六時總會を閉會した。

總會議題

一、昭和二十四年度事業報告の件

二、昭和二十四年度決算財產目錄の件　承認

三、昭和二十五年度豫算案議の件

四、昭和二十五年度經常部の件

五、綠丘新聞刊行費値上の件

昭和二十五年より月刊になつたので年額百圓を貳百圓とすることに決議した。

六、「商學討究」刊行助成の件

臨時費より五萬圓補助に異議なく承認

七、北見支部設置承認の件

今般同窓生三十余名を擁する北見支部が結成されることになり異議なく承認された。支部長には北海道拓殖銀行支店長山崎寅三郎氏、副支部長には細川正一氏決定七月十一日發會式を舉行する。これにより綠丘會は小樽支部を初め二十七支部一支會を擁することになる。

八、綠丘會館設置の件

母校創立以來三十七年實業界其他各界に幾多有力なる先輩を送りつゝ未だ會館の設置の熱烈な要望が起り評議員會に於ても決議せられ今回の總會に於て萬場一致賛成を得た。具體的事項は今後綠丘會評議員會協議せられる。

綠丘新聞は昭和二十五年一月より月刊になつたので今後の經費を値上しました。今後の御購讀料の値上げについては貳百圓とし、研究部員の協力を得るよう何卒同窓各位にお願ひ致します。何れ昭和二十五年度會費及び新聞購讀料を共に御拂込み頂ければ幸です。會員名簿の御購入も何卒お願ひします。

社團法人綠丘會本部

支出の部

科目	豫算額	決算額	增減
經常部			
綠丘新聞刊行費補助	60,000.00	31,285.00	28,715.00
通信費	60,000.00	73,404.00	△13,404.00
旅費	3,000.00	4,500.00	△1,500.00
備品費	5,000.00	5,996.70	996.70
消耗品費	30,000.00	18,863.70	11,136.30
光熱費		399.53	△399.53
集會費	35,000.00	39,293.44	△4,293.44
印刷費	30,000.00	1,000.00	29,000.00
褒賞費	10,000.00	6,896.00	3,104.00
渉外費		2,418.50	△2,418.50
諸手當	20,000.00	60,464.41	△40,464.41
手數料	2,000.00	755.00	1,245.00
研究費補助	50,000.00	36,458.40	13,542.60
假拂金		355,680.00	
雜費	20,000.00		
	325,000.00	637,354.68	23,326.32
臨時部			
開學式經費	223,000.00	192,197.54	30,802.46
日本經營學會經費	168,500.00	281,898.60	△113,398.60
開學記念論文集出版		61,135.20	
		535,231.34	
研究基金部			
助成基金部			
支出合計		1,172,586.02	

財產目錄（昭和25年3月31日現在）

1. 預金

（1）基本財產	普通預金	北海道拓殖銀行	15,353.76	研究基金部
〃	金錢信託	朝日信託	1,096.30	〃
〃	普通預金	北海道拓殖銀行	45,346.56	助成基金部
〃	金錢信託	第一信託	5,644.17	
			67,440.79	
（2）普通財產	當座預金	北海道拓殖銀行	10,242.77	經常部
〃	〃	帝國銀行	16,063.16	
〃	普通預金	富士銀行	4,204.48	
〃	〃	帝國銀行	6,001.54	
〃	〃	千代田銀行	4,257.39	
〃	〃	東京銀行	3,235.63	
〃	〃	帝國銀行	17,909.20	
〃	通知預金		28,521.06	
〃	定期預金	東京銀行	800,000.00	
〃	〃	帝國銀行	600,000.00	
〃	定額預金		200,000.00	
			1,690,435.21	
預金合計			1,757,876.00	
2 大學ノート在庫			225,350.00	
3 貸付金			130,330.00	
4 有價證券	3分半國庫債券 額面1272円	新聞發行保證供託金	490.00	
財產合計			2,114,046.00	

昭和24年度收支決算內譯

收入の部

科目	豫算額	決算額	比較增減
經常部			
前年度繰越金		93,581.18	
會費	200,000.00	168,988.00	△31,012.00
綠丘新聞購讀料	100,000.00	44,810.00	△55,190.00
會員名簿賣上金		40,810.10	40,810.10
家賃		1,250.00	1,250.00
寄附金		6,190.00	6,190.00
預金利子	1,000.00	1,798.53	798.53
雜收入	4,000.00	164.52	△3,835.48
名簿廣告掲載料		8,450.00	8,450.00
助成金	20,000.00	61,400.00	41,400.00
	325,000.00	427,442.33	8,741.15
臨時部			
建物賣却代		2,400,000.00	
預金利子		35,578.90	
		2,435,578.90	
研究基金部			
前年度繰越金		16,212.90	
預金利子		237.16	
		16,450.06	
助成基金部			
前年度繰越金		49,950.51	
預金利子		1,040.22	
		50,990.73	
收入合計		2,930,462.02	

昭和24年度收支決算書　社團法人綠丘會　昭和25年3月31日

收入	本年度決算額	前年度(參考)	支出	本年度決算額	前年度(參考)
經常部	427,442.33	638,547.85	經常部	637,354.68	544,966.67
臨時部	2,435,578.90		臨時部	535,231.34	
研究基金部	16,450.06	16,212.90	研究基金部	0	
助成基金部	50,990.73	49,950.51	助成基金部	0	
			繰越	1,757,876.00	159,744.99
	2,930,462.02	704,711.26		2,930,462.02	704,711.26

昭和25年度經常部收支豫算

收入の部 科目	金額	支出の部 科目	金額
會費	150,000.00	綠丘新聞刊行費補助	40,000.00
綠丘新聞購讀料	50,000.00	通信費	60,000.00
會員名簿賣上金	30,000.00	旅費	3,000.00
預金利子	30,000.00	備品費	5,000.00
雜收入	10,000.00	消耗品費	20,000.00
助成金	100,000.00	集會費	25,000.00
		印刷費	30,000.00
		褒賞費	10,000.00
		諸手當	70,000.00
		手數料	1,000.00
		研究費補助	100,000.00
		雜費	6,000.00
	370,000.00		370,000.00